



CONTENTS

- 活動報告・各種会議議事録
- 会員動静
- 学会関連カレンダー
- 残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018出版のご案内
- 講師派遣のご案内
- 農薬科学研究奨励金制度のご案内
- 日本農薬学会第45回大会の御案内
- 会費の自動引き落とし登録をされている会員の皆様へ

令和元年度 第1回常任評議員会議事録

日 時：令和元年5月11日(土) 13:00～16:30
場 所：日本植物防疫協会 地下会議室
出席者：出席者 15名, 欠席者 2名

議事：

- I. 平成30年度第5回常任評議員会議事録, メール審議議事録の確認
- II. 経過報告および議案
 1. 財務関係
 - ・平成31年度収支決算(1月1日～4月30日)について報告があった。
 - ・第44回大会収支決算状況について報告があった。
 2. 編集委員会
 - ・常任編集委員会の開催について報告があった。
 - ・和文誌, JPS掲載内容について報告があった。
 - ・JPS投稿及びアクセス状況について報告があった。
 3. 学術・技術支援委員会
 - ・学術・技術支援委員会活動について報告があった。
 - ・農薬科学研究奨励金報告について報告があった。
 4. 将来計画委員会について報告があった。
 5. 学会賞受賞者選考委員会について報告があった。
 6. 2019-2020年度専門委員会, 学術小集会名簿について

報告があった。

7. 技術士育成推進委員会
 - ・第44回大会での技術士セミナーの参加状況について報告があった。
 - ・技術士試験の要領改正に伴う, HPの修正について報告があった。
8. 昆虫科学連合, 植物保護科学連合
 - ・2024年国際昆虫学会の招致, 日本学術会議シンポジウムの開催について報告があった。
9. 公益財団法人農学会, 一般社団法人日本農学会について報告があった。
10. 国際学会の渡航費補助について報告があった。
11. 入退会の報告
 - ・入退会について報告があった。
12. 第44回大会関係
 - ・大会準備の進捗状況について報告があった。
 - ・大会シンポジウムについて報告があった。
13. その他
 - ・学生優秀発表賞, 聴衆賞について報告と提案があった。

令和元年度学術小集会委員長との懇談会議事録

日 時：令和元年9月14日(土) 15:30～17:00
場 所：日本植物防疫協会 地下会議室
出席者：学術小集会委員長・副委員長7名, 常任評議員12名(欠席3名)

議事：

1. 小集会活動報告
 - ・2018年度の活動報告があった。
2. 今後の活動方針
 - ・2019年度の活動計画(一部開催済み)が報告された。
3. 常任評議員会から小集会への連絡・要望など
 - ・小集会開催後, シンポジアとして学会誌への寄稿を依頼した。
 - ・農薬科学研究奨励金一次審査員選出を依頼した。
 - ・講演要旨のアーカイブ化のために, 講演要旨集の提

出を依頼した。

- ・会員数の減少と会員増に向けた取り組みについて要望があった。

4. その他

- ・各小集会委員の会員資格の確認の依頼があった。

日本農薬学会令和2年度学会賞受賞者選考委員会
第2回委員会議事録

日 時：令和元年9月21日(土) 15:00～17:00

場 所：日本植物防疫協会 地下会議室

出席者：13名

議事

1. 選考委員の2/3以上が出席していることから、選考委員会は成立していることを確認した。
2. 推薦のあった奨励賞、業績賞（研究）、業績賞（技術）の各候補について、選考に関する内規に基づいて厳正に選考を行い、奨励賞2件、業績賞（研究）2件、業績賞（技術）1件の授賞候補を決定した。
3. 論文賞については、学会誌編集委員会より推薦のあった論文を授賞候補とすることを決定した。
4. 今後、上記授賞候補に対して、評議員による授賞可否投票の手続きに入る。

会 員 動 静

(令和元年5月1日～令和元年8月31日)

入 会

正会員

下村未知瑠 吉田 浩之 石岡 巖 寺島 健仁
増田 有紀 畠本 正浩 島崎 祐樹 国枝 巧
稲葉 正光 堀田 博樹 阿部 美和 川口 智也
菊武 和彦 岩波 徹

学生会員

白方陽菜子 谷山 恭彦 菊池 菜央

団体会員

株式会社ニチノ緑化

(受付順)

退 会

名誉会員

満井 喬

終身会員

小竹森正人

正会員

早津 雅仁 北條 敏彦 丸橋 大志 橋本 尚也

西野 雄人 齊藤 拓弥 持田 真歩 栢岡 理
学生会員
平岡 諒也 土井 捷平 豊福美和子

学会関連カレンダー

太字は日本農薬学会が主催、共催、協賛、後援する会議等

2019年

11月

21日(木)～22日(金) 第37回農薬環境科学研究会

主 催：日本農薬学会、農薬環境科学研究会

会 場：倉敷せとうち児島ホテル [〒711-0926 岡山県倉敷市下津井吹上303-53]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/environment/environment37.html>

30日(土) 令和元年度日本学術会議公開シンポジウム 「持続可能な百寿社会に貢献する植物保護科学」

主 催：日本学術会議農学委員会植物保護科学分科会、植物保護科学連合

会 場：東京大学農学部2号館 化学第一教室 [〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1]

U R L : <http://www.plantprotection.sakura.ne.jp/>

12月

4日(水) 第27回農薬レギュラトリーサイエンス研究会

主 催：日本農薬学会、農薬レギュラトリーサイエンス研究会

会 場：北とぴあ 15階 ペガサスホール [〒114-8503 東京都北区王子1丁目11-1]

U R L : <http://pssj2.jp/committee/regulatory.html>

2020年

3月

8日(日)～10日(火) 日本農薬学会第45回大会

主 催：日本農薬学会

会 場：大阪府立大学 [〒599-8531 堺市中区学園町1-1]

U R L : <http://pssj2.jp/>

10日(火) 第18回農薬バイオサイエンス研究会 (第45回大会と共催でシンポジウムを開催)

主 催：日本農薬学会、農薬バイオサイエンス研究会

会 場：大阪府立大学 [〒599-8531 堺市中区学園町1-1]

U R L : <http://pssj2.jp/>

9月

15日(火)~18日(金) アジア植物病理学会

主 催：日本植物病理学会

会 場：つくば国際会議場

U R L：https://acpp2020.org

「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ改訂4版2018」出版のご案内

日本農薬学会では、精度の高い残留農薬分析を実施する上で特に配慮すべき事項を「Q & A」形式に取りまとめた「残留農薬分析知っておきたい問答あれこれ」を出版しています。2003年に初版を発行以来、好評を博して改訂を重ねてまいりましたが、この度、改訂4版を上梓する運びとなりましたのでお知らせします。改訂4版では、前3版出版以降の農薬登録制度の動向を反映させ、最新の科学的知見を盛り込むよう全文の見直しを行ったうえで、初学者の方にも、より読みやすくなるよう心がけて内容を再整理しました。また、携行性を高めるために軽量化を図りました。前版と同様に残留農薬分析の基本やノウハウを得るための参考書として、さらに、食の安全に関心をお持ちの幅広い方々に対しても、農薬の規制についての理解の一助となるようお役立て頂けると幸いです。定価は3,000円です（送料別）。

購入申込み方法：

メールまたはFAXにて、以下の日本農薬学会事務局に氏名、所属、メールアドレス、電話番号、送付先住所、購入冊数（FAX申込みの場合はFAX番号）等をご連絡下さい。また、メール等の件名には「問答あれこれ購入」と記入して下さい。折り返し請求書（送料を含む）を同封し発送しますので、振込みをお願いします。詳細は、学会ホームページもご参照ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2丁目28番10号 日本植物防疫協会内

FAX: 03-5980-0282

MAIL: nouyaku@pssj2.jp

学会HP: http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html

※平成30年の農薬取締法改正に伴い更新が必要となった記事を新旧対照表として取りまとめました。学会ホームページ上（http://pssj2.jp/overview/book_zanryu.html）で公開していますので、ご参照ください。

講師派遣のご案内

日本農薬学会では、一般市民や農業、教育関係の方々に農薬に関する知識や食料生産、食品安全、環境影響などに関する理解を深めていただくことを目的として、専門家を講師として派遣しています。派遣講師が行う講義の内容は、ご要望にできる限り沿うようにしたいと考えておりますので、遠慮なくご相談ください。本活動にご興味がありましたら、学会ホームページ（http://pssj2.jp/overview/semina/haken_16.html）をご参照のうえ、日本農薬学会事務局にご連絡ください。

農薬科学研究奨励金制度のご案内

日本農薬学会では、農薬科学研究の支援を目的として、特に競争的資金の獲得が難しい研究課題や研究者の方々にも利用して頂けるよう農薬科学研究奨励金（1件上限50万円、総額150万円を予定）の交付を行っています。現在、令和2年度交付分の申請を受け付けていますので、学会ホームページ（<http://pssj2.jp/inside/grant19.html>）をご参照の上、是非ご応募下さい。なお、応募締め切りは、令和元年11月29日（当日消印有効）です。

過去の採択課題：http://pssj2.jp/inside/past_grant.html

日本農薬学会第45回大会の御案内

日本農薬学会第45回大会を令和2年3月8日(日)から3月10日(火)までの3日間にわたって大阪府堺市の大阪府立大学(中百舌鳥キャンパス)および大阪市の松下IMPホールにて開催いたします。本学会員ならびにご関心をお持ちの皆様には、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。一般講演の充実のため、学術小集会などの発表で評価されたご研究についても本大会での発表を歓迎いたします。植物防疫関係2学会(日本植物病理学会、日本応用動物昆虫学会)および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方も本学会会員扱いとなりますので、お近くの関係学会員の方に参加・発表をお誘いいただければ幸いです。また、非会員の方のご参加も歓迎いたします。多数のご参加をお待ち申し上げます。

大会関係の記事は、下記のように本News Letterと学会誌に掲載いたします。また、詳細を大会ホームページで随時お知らせいたします。

- News Letter 2019年第4号(令和元年11月20日発行):大会案内, 一般講演申込み要領, 事前割引登録要領
- 日本農薬学会誌45巻1号(令和2年2月20日発行):大会日程, プログラム, 会場案内

I. 開催場所

総会, 学会賞授賞式, 受賞講演, 特別講演

『松下IMPホール』(https://www.kanden-kaijyou.jp/access/ac_imp.php)

JRをご利用の場合, JR大阪環状線, JR東西線「京橋」駅より徒歩5分.

京阪電車をご利用の場合, 京阪本線「京橋」駅より徒歩5分.

大阪メトロをご利用の場合, 大阪メトロ長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅改札を出て4番出口より徒歩1分.

懇親会, 受賞祝賀会

『ホテルニューオータニ大阪 2階 鳳凰I, II』

松下IMPホールより徒歩3分.

JRをご利用の場合, JR大阪環状線「大阪城公園」駅より徒歩3分.

京阪電車をご利用の場合, 京阪本線「京橋」駅より徒歩8分.

大阪メトロをご利用の場合, 大阪メトロ長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅改札を出て1番出口より徒歩3分.

一般講演, ポスター, シンポジウム, ランチョンセミナー, 展示会

『大阪府立大学中百舌鳥キャンパス 共通講義棟B3棟』

(<http://www.osakafu-u.ac.jp/info/campus/nakamozu/>)

南海電車をご利用の場合, 南海高野線「白鷺」駅より徒歩15分. なお, 南海高野線「中百舌鳥」駅等からお乗換えの際, 泉北高速鉄道は「白鷺」駅には停車しませんのでご注意ください.

大阪メトロをご利用の場合, 大阪メトロ御堂筋線「なかもず」駅改札を出て5号出口より徒歩20分.

南海バスをご利用の場合, 南海高野線「中百舌鳥」駅改札を出て南出口, もしくは, 大阪メトロ御堂筋線「なかもず」駅改札を出て6号出口から南海バス南側4番乗り場より「北野田駅前行31, 32, 32-1系統」で約5分, 「府立大学前」下車.

タクシーをご利用の場合, 南海高野線「中百舌鳥」駅改札を出て北出口もしくは南出口, もしくは, 大阪メトロ御堂筋線「なかもず」駅改札を出て8号出口もしくは6号出口からタクシーで約5分. 中百舌鳥キャンパス西門より入構, 直進してB3棟前まで. 北側ロータリー(南海高野線「中百舌鳥」駅北出口, 大阪メトロ御堂筋線「なかもず」駅8号出口)のタクシー乗り場に, より多くのタクシーが停車しています. ただし, 台数には限りがありますので, お待ちいただく場合があります. なお, 南海高野線「白鷺」駅にはタクシー乗り場はありません.

II. 会期および日程

令和2年3月8日(日)～3月10日(火)

| 月・日 | 午前 | 昼 | 午後 | 会場 |
|----------|-----------------|-----------|-------------------------|--------------------------|
| 3月8日(日) | 総会, 授賞式 受賞講演 | | 受賞講演, 特別講演 懇親会・受賞祝賀会 | 松下IMPホール ホテルニューオータニ大阪 |
| 3月9日(月) | 一般講演 | ランチョンセミナー | 一般講演 | 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス |
| 3月10日(火) | シンポジウム | ランチョンセミナー | シンポジウム | 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス |

常任評議員会, 評議員会および編集委員会は, 3月7日(土) に大阪府立大学I-site なんばで開催します。詳細については別途ご案内します。

重要な締切日

一般講演申込期限 令和2年1月10日(金) 延長はいたしません。

講演要旨原稿提出期限 令和2年1月10日(金) 一般講演申込期限と同日ですのでご注意ください。

事前参加・懇親会登録期限 令和2年1月10日(金)

III. 特別講演およびシンポジウム

1. 特別講演

- (1) 「がん—ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) に用いるホウ素薬剤の研究開発」
切畑 光統 (大阪府立大学・特認教授)
- (2) 「未定」
松浦 健二 (京都大学・教授)

2. シンポジウム

- (1) 「生体機能の根幹とその制御」(共催: 農薬バイオサイエンス研究会, 日本農芸化学会)
令和2年3月10日(火) 9:00-12:00
オーガナイザー: 野下浩二, 中川好秋, 太田大策
「受容体の立体構造をベースとした創薬研究」
京都大学大学院医学研究科 岩田想
「幼若ホルモンの細胞内シグナル伝達経路の解明と分子標的農薬の開発」
農研機構生物機能利用研究部門 粥川琢巳
「未定」
学習院大学理学部 西坂崇之
「植物ブラシノステロイドのシグナル伝達機構の解明と応用展開を目指して」
京都大学大学院生命科学研究所 中野雄司
- (2) 「化学・物理・生物・耕種の防除を組合せた現場にフィットした新規侵入を含む病虫害防除について (仮)」
令和2年3月10日(火) 9:00-12:00
オーガナイザー: 岡田清嗣
「病虫害発生予測手法の構築あるいは天敵農薬」(仮)
大阪府立環境農林水産総合研究所 金子修治
「天敵利用における化学農薬の併用について考える～露地ナスの土着天敵保護利用から～」(仮)
奈良県病虫害防除所 井村岳男
「光を利用した微小害虫対策」(仮)
兵庫県立農林水産技術総合センター 八瀬順也
「クビアカツヤカミキリの侵入と防除対策」(仮)
大阪府立環境農林水産総合研究所 山本優一

(3)「スマート農業の実状と課題」(協賛：一般社団法人レーザー学会) 令和2年3月10日(火) 14:00-17:00

オーガナイザー：横井修司，岡澤敦司

「未定」

京都大学エネルギー理工学研究所 柴田大輔

「スマート農業の社会実装に向けた取組み」

農林水産省大臣官房政策課 松本賢英

「ドローン空撮画像による大規模圃場のリモートセンシング」

農研機構農業情報研究センター 杉浦綾

「未定」

ヤンマー株式会社中央研究所 小西充洋

IV. ランチョンセミナー

各ランチョンセミナーでは、弁当が定員(130名または80名)まで無料で提供されます。チケットは、各セミナー当日の朝8:30から受付付近で配布します。

3月9日(月) 12:00-13:00, 3月10日(火) 12:30-13:30 (予定)

Eurofins Agrosience Services (定員80名)

Pharmaron UK/ ビオブリッジ株式会社 (定員80名)

ダウ・アグロサイエンス日本株式会社 (定員80名)

株式会社リガク (定員80名)

日本チャールズ・リバー株式会社 (Charles River) (定員80名)

農薬工業会 (定員130名)

その他調整中

V. 一般講演申込 (一般講演申込期限は令和2年1月10日(金))

一般講演要旨提出は、本学会会員(および冒頭で記載した4学会の会員)で令和2年度分会費納入者に限ります。受付は全てWeb上で行います。一般講演を申し込まれる場合は、1演題ごとに発表代表者が次の1~3を行ってください。

1. 東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページ(<https://sec.tobutoptours.co.jp/web/evt/pssj45/>)にログインし、「VIII. 参加登録」の項に従って、事前参加登録を行ってください。事前参加登録をされませんと、一般講演の申込はできません。一般講演を行わない参加者の方も、必ず事前登録を行ってください。
2. 一般講演申込の受付は令和元年11月1日(金)からWeb上で開始いたします。1の参加登録手続き後に、東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページにログインし、マイページ左側メニューの「演題登録」から手続きを行ってください。(一般講演申込期限：令和2年1月10日(金))
3. 2の一般講演申込手続き後に、「VI. 講演要旨原稿の作成について」の項をご参照の上、講演要旨原稿を作成してください。講演要旨原稿は東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページにログインし、「演題登録」でアップロードすることによって提出してください。(要旨提出締切：令和2年1月10日(金))詳しくは、「VI. 講演要旨原稿の作成について」の項をご覧ください。)

※一般講演申込の入力内容について

一般講演申込においては、(1) 演題名 (2) 発表者氏名(連名の場合は共同発表者全員をご登録ください。また、発表者区分の項目で、発表代表者または共同発表者の別を明らかにしてください) (3) 所属・連絡先・電子メールアドレス (4) 分類(次頁の分類表I, およびIIから選択, 選択例：第1希望B-1, 第2希望E-5) (5) 代表者の会員番号をそれぞれご入力ください。期限を過ぎると、これらの内容は変更できません。

(4) の分類は、プログラム編成のために使用します。下記の分類表IとIIを組み合わせた記号で希望分野をご選択ください。

(5) の会員番号は、学会誌が送付された封筒の氏名欄右下に記された6桁の数字です。会員用「お知らせメール」にも記載されています。不明の場合は、日本農薬学会事務局(Tel: 03-5980-0281)にお問合せください。

| 分類I | 分類II |
|-----------------------|-----------------------|
| A 分子設計 | 1 殺虫剤 |
| B 天然物化学 | 2 殺菌剤 |
| C 合成プロセス, グリーンケミストリー | 3 除草剤 |
| D 作用機構, 抵抗性 | 4 植物生長調節剤 |
| E 生物活性, 検定法 | 5 防疫薬 |
| F 代謝, 分解, 動態 | 6 生物農薬 |
| G 製剤, 施用法 | 7 環境化学物質 |
| H 残留, 分析法 | 8 その他 (簡単な内容をご記入ください) |
| I 環境科学, 生態影響 | |
| J 毒性 | |
| K 遺伝子科学 | |
| L レギュラトリーサイエンス | |
| M その他 (簡単な内容をご記入ください) | |

VI. 講演要旨原稿の作成について

講演要旨原稿は紙媒体をしません。『一般講演要旨原稿テンプレート』に上書きすることにより要旨原稿を作成し、WordファイルおよびそれをPDF化したファイルとして、東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページ(<https://sec.tobutop.tours.co.jp/web/evt/pssj45/>)の「一般講演申込」において、ファイルをアップロードすることにより提出していただきます。原稿はそのまま大会事務局でA4版にプリントアウトし、オフセット印刷します。要旨提出期限は令和2年1月10日(金)です。

- 要旨原稿はMicrosoft Word for WindowsもしくはMicrosoft Word for Macにて、『一般講演要旨原稿テンプレート』に上書きして作成してください。図表を挿入しても差し支えありません。なお、1演題につき用紙1枚に限ります。要旨原稿作成にあたっては、要旨記入例を参照ください。
- 書式(一般講演要旨原稿テンプレートおよび要旨記入例を参照)
 - A4版用紙を用い、上下25 mm, 左右20 mmを余白とした枠内に記入してください。
 - 演題および氏名(所属)を最上部に書き、左側には25 mm(余白と合わせて45 mm)の空白を設けてください。発表者が連名の場合には、講演者の前に○印を付けてください。
 - 演題・氏名(所属)・要旨本文および脚注を、それぞれ改行してこの順に書いてください。氏名(所属)と要旨本文の間には、空白行を1行設けてください。
 - 全行数(演題, 氏名, 脚注などを含む)は36行程度で書いてください。
 - 要旨本文は、目的・方法・結果および考察に分けて、具体的に書いてください。特に、結果および考察については、その内容を把握できるようにしてください。
 - フォントは12ポイントで、演題は太字にしたゴシック体(「MSPゴシック」を推奨)を、それ以外は明朝体(「MSP明朝」を推奨)を使用して下さい。数字やアルファベットは原則として半角文字を使ってください。
 - 枠内の最下部から30 mmまでの領域内に、脚注として英文による演題と氏名(所属)を書き込んでください。
 - 英文で記述する場合は、フォントにできる限り「Times New Roman」を用い、上記の様式に準じてください。
- 要旨原稿ファイルは、WordファイルおよびそれをPDF化したファイルの両方で提出していただきます。PDF化に際しては、図表に十分な解像度があるか、文字化けはないか発表者自身で確認してください。
- ファイル名はそれぞれ(氏名の半角英小文字.doc), (氏名の半角英小文字.pdf)としてください(「府大太郎」の場合は, fudaitarou.docとfudaitarou.pdfとなります)。
- 大会講演要旨集に掲載された各要旨の著作権(複製権, 公衆送信権を含む)は、日本農薬学会に帰属しますので、必ず「共著者全員の同意のもと承認します」の承認ボタンにチェックを入れてください。

VII. 一般講演について

講演はすべて、Microsoft PowerPointで作成されたファイルを液晶プロジェクターで投影して行います。講演時にトラブルが起きないように、下記の注意点を参考にしてファイルの作成と受付を行ってください。使用するノートパソコン(OS: Windows10)には、Microsoft PowerPoint 2016がインストールされています。演台上のPCは、原則として演者の方ご自身で操作していただきます。

ファイル作成の注意点

- (1) 発表1題につき1つのファイルを作成し、ファイル名は講演番号_講演者名(半角英数のみ使用).ppt(あるいは.pptx)としてください。例:A101_fudaitarou.ppt
- (2) 講演時間は1題15分(講演12分, 討論3分)の予定です。12分の発表時間に適したスライドの枚数にしてください。また、遠距離からも十分見えるよう、文字のサイズやフォントの選択に留意してください。
- (3) スライド中に使用するフォントは、文字化けを防ぐために機種依存文字(①,(株)など)の使用は、極力避けてください。
- (4) 動画等を含む大容量のファイルはトラブルの原因になりますので、極力避けてください。やむを得ない場合は、ファイルを可能な限り圧縮してください。
- (5) 作成されたファイルはWindows版のPowerPointでスムーズにスライドショーができることを確認してください。特にMacintoshをご使用の方は、ファイルをお持ちいただく前に、Windows版のPowerPointで動作確認を各自お願いいたします。特にフォントずれや文字化け、オブジェクトの非認識等にご注意ください。

データ受付の流れ

※発表ファイルの受付は、原則として3月8日(日)(一般講演前日)に済ませてください。発表者が受付できない場合は、共同発表者の方が代わりに行ってください。発表直前の受付はご遠慮ください。

- (1) 発表用ファイルはUSBメモリに保存してお持ちください。発表ファイルおよびUSBメモリのウイルスチェックを、必ず事前にお持ちの最新ウイルス対策ソフトで済ませておいてください。
- (2) 総会会場の受付付近に設置した「発表ファイル受付」にて、ウイルスチェックを行なった後、発表ファイルをコピーしていただき、スライド動作に問題がないかどうかを確認してください。
- (3) 万が一のトラブルに備え、発表用ファイルの入ったUSBメモリは、発表時にご持参ください。
- (4) 大会終了後は、講演会場用PCにコピーされた発表ファイルは大会実行委員立会いの下、確実に削除いたします。

VIII. 参加登録(事前参加登録期限は令和2年1月10日(金))

参加登録は、令和元年11月1日(金)から令和2年1月10日(金)までWeb上で開始します。東武トップツアーズ(株)の事前参加登録ページにアクセスしてください。「初めての方はこちらから」のボタンをクリックし、ID(メールアドレス)、パスワードを登録しログインします。参加者の連絡先入力後、大会参加、懇親会参加、宿泊予約等を行ってください。登録手続き完了後、登録内容をお知らせする電子メール(「ID登録完了のお知らせ」)がお手元に自動配信されます。このメールにより、参加登録手続きの完了と申込内容が確認できます。申込内容を確認後、参加登録ページの「支払」から支払い手続きを行ってください。参加費の支払い方法の詳細については支払い方法登録確認のメールにてお知らせします。

※支払いは銀行振込もしくはクレジットカードのみとなっております。公費・校費による支払いはお受けできません。

1. 事前登録割引: 令和2年1月10日(金)までとさせていただきます。これ以降は、すべて当日受付とさせていただきますので、大会会場にてお申込みください。スムーズな当日運営のため、事前登録割引にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。一般講演を行わない参加者の方も、事前登録にご協力ください。

| | | 参加登録費 | 備考 |
|-------------------------|------|---------|--------------------|
| 大会参加費 (講演要旨集1部の代金含む) | 正会員 | 8,000円 | 1月10日(金)以降は10,000円 |
| | 学生会員 | 3,000円 | 1月10日(金)以降は4,000円 |
| | 非会員 | 13,000円 | 1月10日(金)以降は15,000円 |
| 講演要旨集のみ | | 3,000円 | 送料込み(大会終了後発送します) |
| 懇親会費 | 正会員 | 10,000円 | 1月10日(金)以降は12,000円 |
| | 学生会員 | 3,000円 | 1月10日(金)以降は5,000円 |
| | 非会員 | 13,000円 | 1月10日(金)以降は15,000円 |

※植物防疫関係2学会(日本植物病理学会・日本応用動物昆虫学会)および日本雑草学会と植物化学調節学会の正会員・学生会員の方も本学会会員と同じ参加費です。

2. いったん納入された参加登録費・懇親会費は返金いたしません。
3. 大会参加登録費用に相当する領収書（参加登録費・懇親会費）は、大会当日に参加証と一緒にお渡しします。
4. 事前参加登録し、参加登録費をお支払いいただいた方は、事前参加登録ページの大会参加証引換券発行ページから大会参加証引換券を印刷することができます。その引換券を印刷して、宿泊等の必要情報を記入いただき、学会当日、大会受付へ提出ください。参加証を引き換えにお渡しします。

IX. 宿泊について

東武トップツアーズ（株）の事前参加登録ページから、ホテルの宿泊を予約していただくことができますのでご利用ください。

X. 託児室について

お子様をお持ちの会員の方々に安心して年次大会に参加していただくために、乳幼児を含む未就学児童から小学生（6ヶ月～12歳）までのお子様を大会期間中にお預かりする託児室（無料）を設置いたします。ご利用には事前の申込と手続きが必要です。託児室の利用をご希望の方は、下記の大会組織委員会までご相談ください。

日本農薬学会第45回大会組織委員会

住所：〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科

TEL: 072-254-7341

E-mail: okazawa@plant.osakafu-u.ac.jp

担当：岡澤 敦司

会費の自動引き落とし登録をされている会員の皆様へ

2020年度会費を、2019年12月6日(金)に引き落としいたします。前日までに指定口座へのご入金をよろしくお願いいたします。

※2020年度分の自動引き落としの申込は締め切りました。2021年度分より自動引き落としを希望される方は学会事務局までご連絡ください。

日本農薬学会事務局：

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10 日本植物防疫協会内

TEL: 03-5980-0281

E-mail: nouyaku@pssj2.jp

発行所：日本農薬学会

〒114-0015 東京都北区中里2-28-10

一般社団法人日本植物防疫協会内

TEL: 03(5980)0281 FAX: 03(5980)0282

E-mail: nouyaku@pssj2.jp